


| | | | | |
|------------|--|------------------|------|---|
| ふりがな 氏名 | おのき りえ | 都 道 府 県 | 神奈川県 |  |
| | 小野木 理恵 | | | |
| 所属/肩書 | <ul style="list-style-type: none"> ・慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 医療マネジメント専修 修士 ・コミュニティナース育成プロジェクトメンバー | | | |
| 私のESD活動 | 「元気で、健康なまちづくり」に貢献するコミュニティ・ナースの育成・サポート事業 | | | |

活動の概要

看護師が、病院や福祉施設のような限定されたひとつの場所で働くのではなく、地域の中に飛び込み、溶け込み、長く付き合いながら時に「あっこに住んでる明るいあの子、そういえば看護師さんやったなあ！」と言われるような距離感で住民さんとパートナーシップを形成し共に活動していく「コミュニティナース」という働き方。

2016年からは、先行事例に学び、実際に地域に入り込んでのフィールドワークを通しての実践的な育成プロジェクトも開始された。

「コミュニティナースとして、地域に根差した活動でまちを元気にしたい！」という想いを胸に集った受講生たちが、今では運営側にまわり、同じ思いを胸にやってくる新たな受講生を迎え入れ、またそれぞれに「自分らしいやり方」を見つけ、コミュニティナースとしての活動を実践している。

私自身も1期生として育成プロジェクトを受講した一人であり、今後も仲間たちと新たな受講生のより良い学びのために尽力したいと考えている。お仕着せのプログラムではなく、受講者ひとりひとりのこれまでの経験やとんがりを活かした学びあいの場づくりのため、今回のコンファレンスでESD教育について改めて考えてみたいと思っている。

他、理事をしているNPOで一般市民向けのヘルパー養成講座の講師、看護大学における実技演習やグループワークのサポート、臨地実習指導等を行っている。

○「コミュニティナース育成プロジェクト」 <http://community-nurse.com/>

今後の活動や協働への展望

これまでの活動についても、主観的には「自分はESD活動を学習者の主体性を大切にしながら行ってきた」と一定の評価をしているが、相手は本当はどう感じていたのか？という点で自信を持ちきれずにきた。ESD活動にずっと携わっていきたいという思いはあっても、その自信のなさから腹を決めれずに過ごしてきた。

このコンファレンスに参加し、改めてESDについて仲間とともに考えてみることで、まずは「一般市民の啓発活動」「NPO法人で働くヘルパーの育成活動」「看護師養成課程の学生を対象とした実習指導活動」といった仕事での学習者との関わり方、自らのあり方を見直し、学習者が身近な問題を自分ごととしてとらえ、解決方法を工夫していくそのプロセスを大切にしたい学びの場を作っていきたい。また現在修士課程の2年生であり修了後はなんらかの形で成人学習者の教育活動に従事したいと考えている。

有志団体として活動を続けてきた「学びあいの場作り」についても、ESDでの学びを取り入れ主催者だけでなく参加者にとっても「自分ごと」を感じられる場作りを目指し、息の長い団体運営をしていきたい。

ESD日本ユースの一員としては、現時点ではどのような協働可能性があるのか具体的なイメージは出来ていないが、ESDの

担い手を増やすためこのコンファレンスのような活動の運営手伝いをさせていただけたらと思っている。